

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成27年3月3日 NO.92 (192)



オー君 「花ちゃん！ぼくもいいもの^{ひろ}の拾^{ひろ}っちゃった。」

花ちゃん 「あら！これは鳥^{とり}の羽^{はね}ね。」

オー君 「いいだろう。ぼくもこれからは鳥^{とり}の羽^{はね}集^{あつ}めをするんだ。」

モンタ博士「どれどれ見^みせてごらん。オー君^{くん}はいいもの^{ひろ}を拾^{ひろ}ったね。拾^{ひろ}いものから観^{かん}察^{さつ}は始^{はじ}まるんだね。羽^{はね}一枚^{いちまい}だって『自然^{しぜん}からのメッセー^じ』だね。」

花ちゃん 「モンタ博士^{はかせ}！鳥^{とり}は種^{しゅ}類^{るい}によって、羽^{はね}の色^{いろ}や形^{かたち}がいろいろあるんですね。」

モンタ博士「そうだね。それじゃ、羽^{はね}について、科^{かが}学^{がく}的^{てき}に見^みたり考^{かん}えたりしてみようか。」

オー君 「コサギのような白^{しろ}い鳥^{とり}は白^{しろ}い羽^{はね}、カラスのような黒^{くろ}い鳥^{とり}は黒^{くろ}い羽^{はね}…だよ。」

花ちゃん 「でも、コサギやカラスばかりが鳥^{とり}じゃないわよ。いろいろなきれいなもよう^{とり}の鳥^{はね}は、羽^{いろ}の色^{いろ}やもようもいろいろあるでしょうね。」

モンタ博士「もちろんそうだろうね。大^{おお}きさや形^{かたち}、もようから、どん^{とり}な鳥^{そうそう}かを想^{そう}像^{そう}するの

は楽しいことだね。」

オー君 「羽を拾ったら、何という鳥かを調べるのは、クイズみたいだ。」

モンタ博士 「この前もお話したけど、鳥の羽図鑑というのものもあるからね。それを見ながら絵合わせして、調べるといいと思うよ。ところで、鳥の羽は、生えている場所によって羽の形がちがうことを知っているかな。」

花ちゃん 「え！生えている場所で形がちがう・・・？どういうことですか。」

オー君 「それじゃ、羽の形でどこにあった羽かわかるわけ・・・？」

モンタ博士 「そうだよ。わかるんだよ。下の絵を見てごらん。」



オー君 「あれあれ？3つとも形がちがうぞ。」

花ちゃん 「Aの羽はよく見るけど、BやCの形の羽もあるんだ。」

モンタ博士 「Aの羽は、軸とってかたい骨みたいなものがあるだろう。それが、どっかにかたよっているだろう。それに、少しカーブしていて、ちょっとアーチのようにそっているのもわかるかな。」

花ちゃん 「ふむふむ。なるほど。」

モンタ博士 「Bの羽は、ほとんどまっすぐで、軸はまん中でAのようなかたよりはないね。」

オー君 「ふむふむ。なるほど。」

モンタ博士 「Cの羽は、やわらかくて、短いものが多いね。つまり、鳥の羽は、生えている場所や目的によって、形がちがうのさ。ところで、Aの羽は左の羽だね。」

花ちゃん 「え！右の羽か左の羽かもわかつちゃうんですか。」 つづく・・・・・・・・